

JA だより



—自然のめぐもりと暮らしたくて—



HBAセレクションセール



今年は3日間の開催となりました

HBAセレクションセール開催

7月22日から24日にかけて日高軽種馬農協主催のセレクションセールが開催され、大いに賑わいを見せました。

昨年の上場頭数は295頭、今年は484頭と189頭増加しており、市場も昨年までの2日間開催から今年は3日間開催となりました。市場全体の3日間を通しての売却率は85.1%、平均価格は1,747万円、売却総額は71億9,760万円となりました。

静内産馬の結果としては、111頭の上場で売却頭数97頭、売却率としては87.4%となりました。なお、平均価格は1,980万円であり、売却率、平均価格ともに市場平均を上回りました。

また、売却額高額2位として、(有)グランド牧場生産の「エスミツクル2023」(牝、父フィレンツェファイア)、高額3位が(有)グランド牧場生産の「ゴールドチェイス2023」(牝、父ドレフォン)と



市場の様子です。



購買されてからの撮影の様子です。

(有)グランド牧場のテントには多くの来場者の方々が見られていました。サマーセールにも期待です。



看板の周りには名馬の紹介がありました。

購買者は1000人を超え、熱気に包まれていました。



(有)飛野牧場生産の「レインオンザデューン2023」(牝、父オルフエーヴル)となっており、「レインオンザデューン2023」は牝馬においての最高価格となりました。
8月19日から6日間の日程でサマーセールの開催が予定されており、セレクションセール以上の賑わい、評価を期待しております。
(価格はすべて税抜きとなっております。)

第36回かしわ記念 (G1)

優勝 シヤマル号

昨年の雪辱晴らす 岡田スタッド 生産

5月1日、船橋競馬場で開催された「第36回かしわ記念」(ダート1600m)で岡田スタッド生産のシヤマル号(牡6歳、父スマートファルコン、母ネイティヴコード)が黒船賞(G3)からの重賞連覇で昨年のかしわ記念の雪辱を晴らすことができました。

前レースで1年ぶりの勝利を挙げ、自信を取り戻しつつあったシヤマル号ですが、本レースでも好ダツシユから先頭に立ち、マイペースの逃げに持ち込みました。最後の直線に入っても他馬を全く寄せ付けずラスト200mになっても後続馬の足音は聞こえず、2馬身半差を付け、逃げ切り完勝しました。

6月19日のさきたま杯(G1)では惜しくも3着でしたが、今後の活躍を期待しております。

(勝ちタイム1分39秒0)



Winning Horse シヤマル号

宝塚記念 (G1)

優勝 ブローザホーン号

G1初制覇 岡田スタッド 生産

6月23日、京都競馬場で開催された「宝塚記念」(芝2200m)で岡田スタッド生産のブローザホーン号(牡5歳、父エヒリアネイア、母オートクレール)が中央競馬の前半戦を締めくくる春のグランプリレースで見事優勝を果たしました。

本レース直前に止んだ雨がスタート直後に再び降り出しましたが、悪い馬場でも苦にしないというブローザホーン号。道中は最後方からレースを進め、3コーナー付近でポジションを押し上げて最後の直線で大外から見事に差し切りました。

(勝ちタイム 2分12秒0)



ブローザホーン号

写真提供: @ouma_channel 様

ミニトマト、たくさんできるかな
JAしずない青年部、食育出前授業を行う

JAしずない青年部(部長 小久江正樹さん)は6月上旬から6月中旬にかけて、新ひだか町の小学校2校と静内保育所を訪れ、静内産ミニトマト「太陽の瞳」と同じ品種を使った定植体験授業を行いました。



静内保育所の子供たち
 6月3日に選果場見学、日根野農場見学と、6月7日に定植体験を行いました。



阿部卓馬さんのミニライブも盛り上がりました。

定植も頑張りました。お水をたくさんあげました。

高静小学校の子供たち
 6月4日に学校での定植体験を行いました。

ミニスに夢中な子供たち。



地域一体となった産地づくりPRRを今後とも続けていきますので、ご協力の程、お願い致します。



イボ竹を刺すのは大変です。



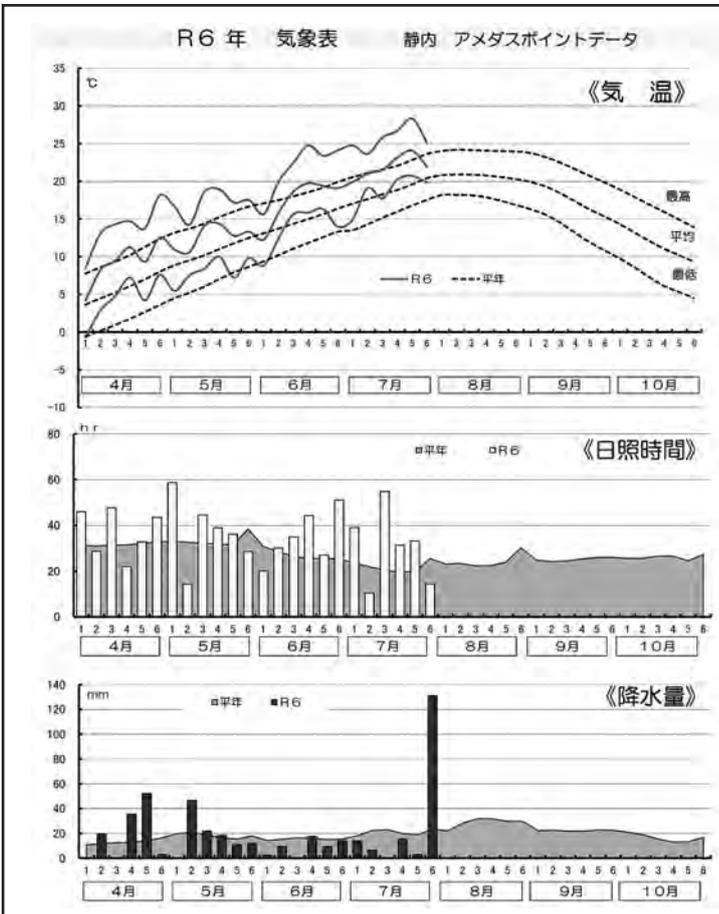
支援学級の子供たちも一生懸命定植してくれました。

静内小学校の子供たち
6月12日に学校での定植体験を行いました。



農作物の生育状況

北海道日高振興局から提供された、直近（8月1日現在）の農作物の生育状況としましては、本年4月より平均気温はかなり高く推移し、日照時間もかなり多く推移しています。水稻、トウモロコシ（サイレージ用）の生育は平年より6日程度早く進んでおり、1番牧草も平年より早く収穫できております。2番牧草は一部7月中旬の少雨の影響で生育が停滞しておりますが、例年より3日程度早く進んでおります。



黒毛和牛素牛 市場販売成績

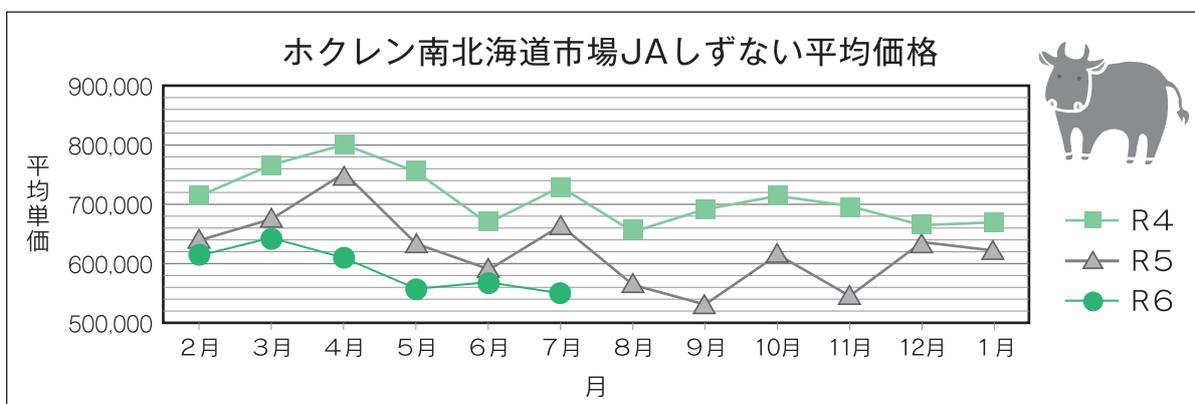
(令和6年4月市場～7月市場)

素牛価格の低迷を受け、4月から6月において肉用子牛補給金制度が発動しました。

※取引結果については、安平町・ホクレン南北海道市場でのもの。
(取引価格は税込み)

市場		販売頭数	売却金額 (千円)	平均単価 (円)
4月	去勢	41	27,677	675,051
	めす	34	18,383	540,682
	計	75	46,060	614,137
5月	去勢	37	22,136	598,281
	めす	30	15,395	513,150
	計	67	37,531	560,163

市場		販売頭数	売却金額 (千円)	平均単価 (円)
6月	去勢	35	21,795	622,726
	めす	23	11,569	502,987
	計	58	33,364	575,243
7月	去勢	30	18,861	628,687
	めす	23	10,592	460,517
	計	53	29,453	555,708



目合わせ会を開催

新ひだか町静内和牛生産改良組合

写真提供
現代農業



4月10日、新ひだか町静内和牛生産改良組合（組合長 渡辺 隆さん）は、ホクレン南北海道市場において、目合わせ会を開催しました。

内容としては各生産者の素牛の体型の特徴から、飼養管理の課題について畜産技術士の出雲将之さんをお招きし勉強しました。

普段自分の牛しか見ていなければ、牛の見方が自分基準になってしまい、課題に気付けないという点で、生産者が集まりやすい、市場の上場日に出荷牛を見ながら行いました。

詳しい内容、様子は現代農業2024年8月号に記載されていますので、是非ご覧いただければと思います。



理事会報告

5月理事会(28日)

1. 規程類の変更(案)について
2. 令和6年度 軽種馬生産基盤整備対策(放牧地等整備)事業(案)について
3. 令和6年度 体重計等計測機器導入補助事業(案)について
4. 2024 しずない農業まつりについて
5. 役員賠償責任保険契約の締結について
6. デイスクロージャー誌の縦覧について
7. 夏期手当の支給について

6月理事会(25日)

1. 令和6年度 軽種馬生産基盤整備対策(放牧地等整備)事業(案)について
2. 令和6年度 地域づくり総合交付金事業に係る施設機械リースについて
3. 令和6年度 主食用米穀の出荷契約に係る数量等申込及び受託について
4. 「JAグループ北海道 不祥事ゼロ運動」について

7月理事会(30日)

1. 規程類の改正(案)について
2. 令和6年度 体重計等計測機器導入補助事業(案)について

ホッカイドウ競馬協賛レース

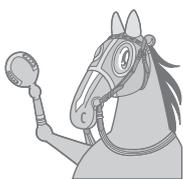
「静内産ミニトマト 太陽の瞳特別」バスツアーの開催

9月5日、令和元年以来4年ぶりにホッカイドウ競馬 応援バスツアーを開催する予定となっております。皆様で大いに盛り上げましょう。



2024 しずない農業まつりの開催

10月13日、恒例のしずない農業まつりを開催する予定となっております。今年は新ひだか町公民館で開催予定です。ご来場お待ちしております。



しずない農協青年部 ハロウィン2024の開催

10月30日、新ひだか町公民館にてハロウィン2024を開催予定です。追ってご連絡します。ハロウィンだよ、仮装して全員集合！



お疲れ様でした 退職職員

営農部営農課 6月30日付 久井 孝文(勤続12年3ヶ月)

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第1回「東野秀樹」氏が組織代表に決定

全国のJAグループの農政組織である全国農政連では、現在JAグループ代表として現職である参議院議員「山田としお」氏が任期満了で退任することを受け、来年夏の参議院選挙に向けて、引き続きJAグループの候補者を擁立することとなりました。

これを受け、北海道のJAグループで組織する北海道農協政治連盟では、本道農業・JAを取り巻く環境が厳しさを増す中、「北海道から農民代表を国政に送るべき」との強い意見を踏まえ、現在ホクレン代表監事で、JA道北なよろ会長である「東野ひでき」氏を、全国JAグループの推薦候補者とすべく、擁立した経過にあります。

全国段階では、千葉県からも1名の立候補があったため、組織内で予備投票を行った結果、東野ひでき氏が全国のJAグループの組織内候補として決定いたしました。

今後、全国のJAグループの代表として活動いただくために、地元北海道として支援の輪を広げてまいりましょう。



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年夏頃まで連載いたします。

次回(第2回)は、東野ひでき氏の主張や人柄について紹介します。

東野ひでき北海道後援会